

第382号 (令和2年9月14日(月)発行)

発行所

京都女子大学 宗教部

京都市東山区今熊野北日吉町35
電話 075 (531) 7074

華利陀芬

三昧力をもつて身本処
を動ぜずして、よくあ
まねく十方に至りて、
諸仏を供養し、衆生を
教化す。

(曇鸞)『往生論註』



私教学非常勤講師 塚本 一真

私の物差し

変化のなかで

戸惑いと手探り。私
たちの日常は、この数ヶ月
で、大きく変わりました。
変化を受け入れざるをえ
ない日々は、何とも落ち
着きどころがないもので
す。しかし、ありふれた
日常が、当たり前ではな
かったと振り返る時、今
あることへの尊さの発見
は、かつてはなかったも
のだと感じます。

まさかの熱中症

今年も猛烈な暑さでし
た。この時期における熱
中症の注意喚起は、今や
世間の常識とってよい
でしょう。

三年前の夏。体に異常
を感じたのは、指先の痺
れが震えとなり、キー
ボードを打てなくなった
時です。まだ、午前中
でした。激しい目眩に襲
われ、病院にいった時には、
すでに体がいうことをき
きません。受付で座り込
んでしまった私は、車い
すに乗せられ、ベッドに
運ばれました。呼吸の乱
れと言葉にならない息苦
しさ。痺れは頬に達し、
ついに口がきけなくなり
ます。遠く意識のなか
で、脳裏をかすめたのは、
「ああ、口が麻痺するほ
どの痺れは血管だ。きつ
と、大きな病気に違いな
い。」ということでした。

五時間ほど点滴をし
ました。大きな病院に移動
すると思っていた私に、
先生が言います。
「塚本さんね…。熱中症
ですよ」
と。思わず私は、

「先生、違うと思います」
と返ってしまいます。な
ぜなら、そんなはずはな
い、私の体は、自分が一
番わかっている、大きな
病気に違いないんだ、と
思っていたからです。そ
んな私に、先生は笑顔で
言いました。
「みんな、そう言うんで
すよ」
と。まさか、自分がそう
なるとは、微塵も思っ
ていませんでした。

自分の体を知ってるつ
もりの私だったのです。
また、当てもテレビやラ
ジオで繰り返し注意喚起
していたにもかかわらず
ず、私は「若い自分には
関係のないことだ」と高
をくくっていました。こ
こに、私たちの奥底に潜
む深い問題があるように
思います。それは、私の
ことは自分が一番よく
知っているのだから、他
者の言葉に耳を傾ける必
要はない、という姿勢で
す。また、「正しいのは
私だ」という思い、と言
い換えることもできるで
しょう。不安な時、必死

無明煩惱われらが身に
みちみちて、欲もおほ
く、いかり、はらだち、
そねみ、ねたむころ
おほくひまなくして、
臨終の一念にいたるま
で、とどまらず、きえ
ず、たえず

このような視点から考え
る時、実は私たちのいう
「物差し」とは、国や文化、
時代や人によって異な
り、実に曖昧でたよりな
いものであることが知ら
されるのです。

な時、余裕のない時、私
に潜むその思いは、首を
もたげて表に顔を出しま
す。そして、思いは言葉
となり、言葉は鋭い刃と
なって思わぬ方に向かう
のです。先生の「熱中症
ですよ」という診断に対
して、私が思わず口にし
た「違うと思います」は、
まさに、自分の物差しこ
そが正しく、自分だけが
知っているとの思いが表
れたものでしょう。

このようなことは、私
たちの日常の様々な場面
にあるのではないでしょ
うか。他者のはたらきか
けを排除し、私の物差し
を絶対とする姿勢は、周
りの見えない闇へ自身を
落ち沈ませるようなもの
です。仏教では、このよ
うなあり方を、蚕がみず
から紡いだ糸によって自
縄自縛する姿にたとえら
れます。すなわち、それ
は、自らの煩惱によって、
苦悩を生み出している私
の姿に他なりません。親
鸞聖人の「二念多念文意」
という書物には
「凡夫」といふは、

2つ目は、進路・就職
課で学生さんの面接を
行った際に「目的意識の
高さ」を感じます。ある
《価値ある大学2021
年版(発行:日経HR)》
では「いい人材が育つ大
学」ランキングで全国の
大学で24位(女子大では
もっとも)とした知識をお伝え
します。

1つ目は、入社して間
もない頃、《スマイル&
クリーンアップキャン
ペーン》という行事に参
加する機会をいただきました。
学生部が主催した
行事で、日ごろお世話に
なっている大学周辺のゴ
ミ拾いをするというもの
でした。参加した学生さ
んは、周辺住民の方と笑
顔で挨拶し、ゴミも積極
的に拾っていました。正
直なところ、「学生さん
は嫌々来るのだらう」と
と始まる前は考えていた
のですが、本当に楽しそ
うに参加している姿を見
て、京女生の「ホスピタ
リティ精神の高さ」を感
じました。

2つ目は、注文が増え、
対人力や行動力でも社会
から高い評価を得ています。
と思いきや、この自己
PRを取った後、この自己
PRを聞いて皆さんはど
のように感じますか?
1人のアルバイトが店の
売上げのことを考え、行
動に移すことが出来る。
このような目的意識の高

これが出来るだけで採
用する側は安心して皆さん
を選考することが出来ます。
新型コロナウイルスの影響で思
うような就職が出来てい
ないかもしれないが、
妥協せず、希望の進路に
向けて頑張りましょう!
最後に、私が大切に
している「時間の使い方」に
ついてお伝えします。1
日普通に過ごすことを10
%頑張りたら11、10%
怠けたら0.9とします。7
日間、毎日11で過ごした
ら「77」、0.9で過ごしたら
「63」となり、「14」もの差
がつきます。日々のほん
の少しの差が結果的にこ
んなにも大きな差になり
ます。ぜひ「あとちょっと
と頑張る」という意識
を常に持って学生生活を
送って下さい。

「現代と仏教A」の最終
講義で、それまでに紹介
した親鸞聖人の言葉を参
考に、現代の諸問題の中
から一つ選んで論じるよう
指示した。どの受講生の
回答もよく考えたもので、
読んでいて感心するもの
ばかりであった。ある学
生は若者の自殺を取り上
げた。「歎異抄」第一三條
の「さるべき業縁のまよ
ほさば、いかなるふるま
ひもすべし」という言葉
を振り所に論じていた。
その一部を紹介しよう。
「私は偶然死ななかつたけ
れど、ほんの少し、僅か
な何か一つでも違えば、
ニュースで報道される彼
らのように、自殺を遂げ
ていたのかもしれないな
か。人間はほんの僅かの
違いで、しかるべき縁で
死を選ぶ。そのように脆
い存在である私たちに、
偶然にも死を選んでし
まった彼らに、簡単に「死
ななくてもよかった」と
いう言葉は投げかけられ
ないのではないだろうか。」

「経営企画・広報室 広報係長
入学センター 入試広報係長
北山 陽太

「誰か死にたくて死を選
択する者はいないだろう。
陰湿ないじめに耐えかね
て死を選ぶ人もいる。介
護に疲れ無理心中した人
もいる。自分を安全地帯
に置いて自死した者を批
判するのは簡単だ。縁次
第でどんなことでもしか
ねない「脆い存在である」
ことを知っている者は、
人を裁き傷つけるような
ことはしない。」(普

「このように、自分の物差し
を正しく、自分だけが
知っているとの思いが表
れたものでしょう。」

「正しいのは私だ」
と。まさか、自分がそう
なるとは、微塵も思っ
ていませんでした。

「正しいのは私だ」
と。まさか、自分がそう
なるとは、微塵も思っ
ていませんでした。

ありのままに歩む道

もちろん、生活する上
において、一定の規則や
基準は、社会の秩序を保
つために重要です。しか
し、社会の根本にある私
一人の胸の内に、光が当
てられることが軽視され
てはなりません。胸に潜
んだ思いを抱えて、苦悩
する私の素顔は、そこに
こそあるのではないで
しょうか。

私教の声は、困難を抱
える私にいつもよびかけ
続けています。

大学若手職員からのメッセージ

④京女生は本当に素晴らしい!



「これが出来るだけで採
用する側は安心して皆さん
を選考することが出来ます。
新型コロナウイルスの影響で思
うような就職が出来てい
ないかもしれないが、
妥協せず、希望の進路に
向けて頑張りましょう!
最後に、私が大切に
している「時間の使い方」に
ついてお伝えします。1
日普通に過ごすことを10
%頑張りたら11、10%
怠けたら0.9とします。7
日間、毎日11で過ごした
ら「77」、0.9で過ごしたら
「63」となり、「14」もの差
がつきます。日々のほん
の少しの差が結果的にこ
んなにも大きな差になり
ます。ぜひ「あとちょっと
と頑張る」という意識
を常に持って学生生活を
送って下さい。」

「これが出来るだけで採
用する側は安心して皆さん
を選考することが出来ます。
新型コロナウイルスの影響で思
うような就職が出来てい
ないかもしれないが、
妥協せず、希望の進路に
向けて頑張りましょう!
最後に、私が大切に
している「時間の使い方」に
ついてお伝えします。1
日普通に過ごすことを10
%頑張りたら11、10%
怠けたら0.9とします。7
日間、毎日11で過ごした
ら「77」、0.9で過ごしたら
「63」となり、「14」もの差
がつきます。日々のほん
の少しの差が結果的にこ
んなにも大きな差になり
ます。ぜひ「あとちょっと
と頑張る」という意識
を常に持って学生生活を
送って下さい。」

「これが出来るだけで採
用する側は安心して皆さん
を選考することが出来ます。
新型コロナウイルスの影響で思
うような就職が出来てい
ないかもしれないが、
妥協せず、希望の進路に
向けて頑張りましょう!
最後に、私が大切に
している「時間の使い方」に
ついてお伝えします。1
日普通に過ごすことを10
%頑張りたら11、10%
怠けたら0.9とします。7
日間、毎日11で過ごした
ら「77」、0.9で過ごしたら
「63」となり、「14」もの差
がつきます。日々のほん
の少しの差が結果的にこ
んなにも大きな差になり
ます。ぜひ「あとちょっと
と頑張る」という意識
を常に持って学生生活を
送って下さい。」

標

前期はコロナ禍の
ため、対面授業がで
きずオンライン授業
となった。慣れない
授業形態に講義をする側
も、また受ける側も戸惑っ
たことだろう。私はLM
Sを使った講義であつた
が、回答を読むと、どの
受講生も真摯に取り組ん
でいることに気づいた。

「現代と仏教A」の最終
講義で、それまでに紹介
した親鸞聖人の言葉を参
考に、現代の諸問題の中
から一つ選んで論じるよう
指示した。どの受講生の
回答もよく考えたもので、
読んでいて感心するもの
ばかりであった。ある学
生は若者の自殺を取り上
げた。「歎異抄」第一三條
の「さるべき業縁のまよ
ほさば、いかなるふるま
ひもすべし」という言葉
を振り所に論じていた。
その一部を紹介しよう。
「私は偶然死ななかつたけ
れど、ほんの少し、僅か
な何か一つでも違えば、
ニュースで報道される彼
らのように、自殺を遂げ
ていたのかもしれないな
か。人間はほんの僅かの
違いで、しかるべき縁で
死を選ぶ。そのように脆
い存在である私たちに、
偶然にも死を選んでし
まった彼らに、簡単に「死
ななくてもよかった」と
いう言葉は投げかけられ
ないのではないだろうか。」

「経営企画・広報室 広報係長
入学センター 入試広報係長
北山 陽太

「誰か死にたくて死を選
択する者はいないだろう。
陰湿ないじめに耐えかね
て死を選ぶ人もいる。介
護に疲れ無理心中した人
もいる。自分を安全地帯
に置いて自死した者を批
判するのは簡単だ。縁次
第でどんなことでもしか
ねない「脆い存在である」
ことを知っている者は、
人を裁き傷つけるような
ことはしない。」(普

「これが出来るだけで採
用する側は安心して皆さん
を選考することが出来ます。
新型コロナウイルスの影響で思
うような就職が出来てい
ないかもしれないが、
妥協せず、希望の進路に
向けて頑張りましょう!
最後に、私が大切に
している「時間の使い方」に
ついてお伝えします。1
日普通に過ごすことを10
%頑張りたら11、10%
怠けたら0.9とします。7
日間、毎日11で過ごした
ら「77」、0.9で過ごしたら
「63」となり、「14」もの差
がつきます。日々のほん
の少しの差が結果的にこ
んなにも大きな差になり
ます。ぜひ「あとちょっと
と頑張る」という意識
を常に持って学生生活を
送って下さい。」

「これが出来るだけで採
用する側は安心して皆さん
を選考することが出来ます。
新型コロナウイルスの影響で思
うような就職が出来てい
ないかもしれないが、
妥協せず、希望の進路に
向けて頑張りましょう!
最後に、私が大切に
している「時間の使い方」に
ついてお伝えします。1
日普通に過ごすことを10
%頑張りたら11、10%
怠けたら0.9とします。7
日間、毎日11で過ごした
ら「77」、0.9で過ごしたら
「63」となり、「14」もの差
がつきます。日々のほん
の少しの差が結果的にこ
んなにも大きな差になり
ます。ぜひ「あとちょっと
と頑張る」という意識
を常に持って学生生活を
送って下さい。」

「これが出来るだけで採
用する側は安心して皆さん
を選考することが出来ます。
新型コロナウイルスの影響で思
うような就職が出来てい
ないかもしれないが、
妥協せず、希望の進路に
向けて頑張りましょう!
最後に、私が大切に
している「時間の使い方」に
ついてお伝えします。1
日普通に過ごすことを10
%頑張りたら11、10%
怠けたら0.9とします。7
日間、毎日11で過ごした
ら「77」、0.9で過ごしたら
「63」となり、「14」もの差
がつきます。日々のほん
の少しの差が結果的にこ
んなにも大きな差になり
ます。ぜひ「あとちょっと
と頑張る」という意識
を常に持って学生生活を
送って下さい。」



隠者文学の読み方

文学部国文学科教授 小山 順子

社会と文学

現在、世界中で新型コロナウイルスをめぐって未曾有の混乱が生じている。平日頃の生活が思いもかけない事態によって一転するいかに脆いものであるか、実感を伴って知った人が多かっただろう。

二〇一一年の東北大震災の後には、鴨長明『方丈記』が注目を集めた。平安時代末期に起こった元暦の大地震についての詳細な記録を書き記していることが、社会的にも注目されたのだ。

長明が生きたのは、保元の乱から源平合戦という戦乱に京がさらされた上に、大火・辻風・飢饉・地震と災害に直撃された激動の時代だった。こうした乱世で、翻弄される人間とたやすく家屋が失われゆく様をまざまざと目にした経験が、『方丈記』を選び、その生活を書き記す『方丈記』を生んだのだ。

前任校で担当していた授業を、体育学部の男子学生が一人受講していた。四年生で卒業が掛かっているとき、また国文学科の学生と同じ課題では単位を修得しづらいということ、現代語訳でもよいか、『方丈記』を読んでその感想文をレポートとして提出することを課題とした。

その時、彼が提出したA4用紙に一枚程度の感想文は、私にとって忘れがたいものになった。学生は真面目に読んできた。初めて読んだ、面白かった、と書いてあった。しかし、「色々大変なことがあったのは分かるけど、どうして自分から動くことせず、じっと閉じこもっているのか理解できない。もつとできることがあったんじゃないかと思う」といった感想が記されていた。

何のスポーツをしていたのかまでは聞かなかったが、大学の体育学部に進学してくる学生は、ロレーインの頃からスポーツを続けてきているのが常だ。前向きに困難に立ち向かうことが求められるスポーツマンにとって、『方丈記』が描く隠遁生活は逃避にしか映らなかったのだ。

『方丈記』が描き出す閑居での孤独な隠棲が、高い精神性と深い思索を伴う高尚なものという捉え方が、万人に通用するものではないと痛烈に感じた感想文だった。

顧みると、私も含めて文学の研究者は、己の好きなことを学ぶのを第一に置きながら生きている傾向がある。そもそも、現実に還元できる分野の方が、社会的にもその意義を認められやすいし、自他ともへの利益を生む。利益を望むなら、文学ではない分野を選べばよい。敢えて文学を研究しているのは、好きだからという理由以外に無い。しかし、こうした性向は時として、自らの狭い世界へと閉じこもりがちになるのも確かだ。

そこで思い当たったのが、日本文学にある隠者文学と呼ばれるジャンルである。『方丈記』、兼好法師『徒然草』、西行の和歌など、主に僧侶の手によって書かれたもので、世俗から距離を置き、孤独の中で自らの思索を深めてゆく文学である。

私は『方丈記』をすぐれた古典作品だと考えているし、その価値を認めつつも決して羨望を感ぜない。ただ、その隠遁思想に魅力・共感を覚えない読者も一方に確実に存在するのであり、その人たちの素直で率直な感想にも耳を傾けたいと思うのだ。

今回のコロナ禍で、『方丈記』が世界中でベストセラーとなり、日本では二月以後の売り上げが、この七十一年間の売り上げを上回ったという(東洋経済オンライン)名著『ベスト』に学ぶ「コロナ第2波」を生き抜く力(二〇二〇年七月十三日)。

『方丈記』は、平安時代末から鎌倉時代に生きた鴨長明(一一五五―一二二六)が書いた随筆だ。下鴨社家に生まれ、管弦にすぐれ、歌人としても活躍したが、五十歳の時に大原に移り住んで出家した。五十四歳の時、日野山に方丈の庵を結び、仏道に励むとともに、

音楽や四季の自然を楽しむ生活を送った。長明が生きたのは、保元の乱から源平合戦という戦乱に京がさらされた上に、大火・辻風・飢饉・地震と災害に直撃された激動の時代だった。こうした乱世で、翻弄される人間とたやすく家屋が失われゆく様をまざまざと目にした経験が、『方丈記』を選び、その生活を書き記す『方丈記』を生んだのだ。

『方丈記』への感想文。『方丈記』に関して、忘れがたい思い出がある。しかし、「色々大変なことがあったのは分かるけど、どうして自分から動くことせず、じっと閉じこもっているのか理解できない。もつとできることがあったんじゃないかと思う」といった感想が記されていた。

その時、彼が提出したA4用紙に一枚程度の感想文は、私にとって忘れがたいものになった。学生は真面目に読んできた。初めて読んだ、面白かった、と書いてあった。しかし、「色々大変なことがあったのは分かるけど、どうして自分から動くことせず、じっと閉じこもっているのか理解できない。もつとできることがあったんじゃないかと思う」といった感想が記されていた。

『方丈記』が描き出す閑居での孤独な隠棲が、高い精神性と深い思索を伴う高尚なものという捉え方が、万人に通用するものではないと痛烈に感じた感想文だった。

顧みると、私も含めて文学の研究者は、己の好きなことを学ぶのを第一に置きながら生きている傾向がある。そもそも、現実に還元できる分野の方が、社会的にもその意義を認められやすいし、自他ともへの利益を生む。利益を望むなら、文学ではない分野を選べばよい。敢えて文学を研究しているのは、好きだからという理由以外に無い。しかし、こうした性向は時として、自らの狭い世界へと閉じこもりがちになるのも確かだ。

そこで思い当たったのが、日本文学にある隠者文学と呼ばれるジャンルである。『方丈記』、兼好法師『徒然草』、西行の和歌など、主に僧侶の手によって書かれたもので、世俗から距離を置き、孤独の中で自らの思索を深めてゆく文学である。

私は『方丈記』をすぐれた古典作品だと考えているし、その価値を認めつつも決して羨望を感ぜない。ただ、その隠遁思想に魅力・共感を覚えない読者も一方に確実に存在するのであり、その人たちの素直で率直な感想にも耳を傾けたいと思うのだ。

『方丈記』が描き出す閑居での孤独な隠棲が、高い精神性と深い思索を伴う高尚なものという捉え方が、万人に通用するものではないと痛烈に感じた感想文だった。

法のことば

三昧力をもつて身本処を動ぜずして、よくあまねく十方に至りて、諸仏を供養し、衆生を教化す。

(曇鸞『往生論註』)

阿弥陀仏に救われた者は、命終ると同時に浄土に往生してさとりを開きます。そしてまたすぐに浄土からこの迷いの世界に還り来て、今度は他の者を救うために活動します。ということばは、浄土には誰もいないのでしょうか。やっとうちのキャンパスに入れたのに人の気配が全くしない。浄土はそんなさびしく心細い世界なのでしょうか。大丈夫です。みんなちゃんといます。さとりを開いた者は、浄土から動くことなくして、迷いの世界で活動することができるのです。それは、太陽が彼方にありながら、その光であちこちを満たしていることに譬えられます。先に往生した人はみんな、いつでも浄土で待っていてくれるし、いつでもここに来てくれるのです。(西 義人)

お知らせ

＊本願寺書院・飛雲閣拝観(後期)＊

日時 令和2年10月14日(水) 15:15~17:00
集合場所 京都女子大学「錦華殿」前14:40
募集人数 30名(先着順)

＊秋の見学会(バスツアー)＊

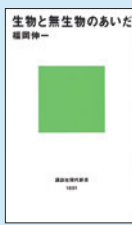
日時 令和2年10月31日(土)
募集人数 22名(先着)※学生行事週間のため授業はありません。
◆本願寺書院・飛雲閣拝観(後期)及び秋の見学会(バスツアー)の申込・詳細は、京女ポータルまたは宗教教育センター(L校舎3階)で確認してください。
※なお、今後の国内や本学の状況によりましては、開催が取り止めとなる場合があります。その場合は、大学ホームページまたは京女ポータルにてお知らせします。



シリーズ 智慧の蔵 32

『生物と無生物のあいだ』

福岡伸一著 講談社現代新書 二〇〇七年



「うんちは食べ物のカスではない。二〇一八年八月に放送されたNHK「最後の講義」未来に託すメッセージ」で本書の著者福岡氏はそのように語っていました。子どもに食事と排泄の大切さを語る時、こう話すことがあります。「うんちが出るのは体にいいことだよ。ご飯を食べて栄養をもらったから、いらぬものがうんちになっただけなんだね」と。でも、私たちが食べているのはすべていのちです。そのいのちに栄養になる大切な部分と、うんちになるいらぬ部分があるのでしょうか。大切ないのちといらぬいのちって、何でしょうか。著者の福岡氏は生物学者です。遺伝子を操作し臓器に欠損のあるマウスを作り観察するといった実験を行います。生命観やいのちの大切さ

とは対極にありそうな、冷徹な科学者かと思ってしまうのですが、本書を読み進めると印象は全く変わりました。生物を熟知しているからこそ、いのちとは何かを問いつつ、食事の意味といふのちのあり方を考えているのです。本書の中で、「しばしば知人と久闊を叙するとき、(お変わりありませんね)などと挨拶を交わすが、半年、あるいは一年ほど会わずにいれば、分子のレベルでは我々はすっかり入れ替わっていて、お変わりありません。私を成り立たせています。そこには無駄なもの、いらぬものなど一つもなかったのです。生物を無生物から区別するものは何か、それを考察した本書を通して、私たちの日々のふるまいを振り返ってみませんか。(佐々木 隆彦)